

＼ おわりあさひ ／

NO.  
250

2026

3.1



# 市議会だより

**特集** P2 12月定例会での主なことから

P3-4 委員会での審査

P5 議案等の審議結果

P6-9 個人質問

P10-11 委員会の行政調査報告

P12 議会報告会・意見交換会／3月定例会の日程



 市民生活を支える基幹インフラの耐震化。震災時に備えて、水道管の布設工事が進められています。災害に強い強靱な市を目指します。



# 12月 定例会での主なことから

尾張旭市議会令和7年第6回(12月)定例会が、11月27日から12月18日までの22日間開催され、市長提出議案19件、請願1件、陳情1件を審議しました。

採決の結果、市長提出議案19件を可決し、請願1件、陳情1件を不採択としました。

## 補正予算

※金額は千円以下切り捨て

### 何に使う? 補正予算の主な使い道

#### 第58号議案 令和7年度一般会計補正予算(第4号)

既定の予算総額から**2億7,080万円**を減額し、総額**329億5,088万円**となりました。

詳しい審査内容は、P3「予算決算委員会での審査」をご覧ください。



## 条例

### トピックス

### 上下水道料金の改定・災害時の復旧体制の強化

#### 第71号議案 下水道条例の一部改正

#### 第72号議案 水道事業給水条例の一部改正

上下水道料金の改定と災害対応力の強化を目的とした議案が審議されました。

#### 上下水道料金・手数料の改定

1

将来にわたり、安定した水道水の供給と継続した下水道サービスを提供するため、料金の改定を行います。

あわせて、諸手数料の見直しを実施し、運営の適正化を図ります。

#### 災害時の復旧体制の強化

2

大規模災害が発生した際、他市等が指定する工事業者でも復旧工事を特例的に認める規定を追加しました。これにより、宅内配管の早期復旧が可能となります。



# 予算決算委員会での審査

各委員会の二次元コードから、該当する委員会の動画を直接開くことができます。

総務分科会

## ギフトカード型商品券、早期給付へ

第75号議案 令和7年度一般会計補正予算(第5号)



**Q** 債務負担行為の「食料品等物価高騰対策支援事業」について、その内容や支給のスケジュールは。

**A** 市民一人当たり5,000円の「ギフトカード型の商品券」を給付する。国からは、国民一人当たり3,000円程度という目安が示されているが、今回の重点支援地方交付金の全体の枠の中で調整して給付額を5,000円分とし、生活者支援の柱として実施する。令和8年度前半の、できる限り早い時期にお届けできるよう事務を進める。

福祉文教分科会

## 子育て応援手当、早期支給へ

第75号議案 令和7年度一般会計補正予算(第5号)



**Q** 「物価高対応子育て応援手当支給事業費補助金」について、その詳細と支給のスケジュールは。

**A** 本市より児童手当を受給している方に、1月下旬頃に案内文を送付予定で、2月下旬には児童手当の振込口座へ支給予定である。公務員など申請の必要な方の提出期限は、令和8年3月31日までとし、3月31日までの新生児については、4月中を提出期限とする予定である。

都市環境分科会

## 三郷駅周辺整備、予算確保へ全力

第58号議案 令和7年度一般会計補正予算(第4号)



**Q** 「三郷駅周辺まちづくり事業」について、社会資本整備総合交付金が減額となっているが、今後の見通しは。

**A** 現時点で、事業進捗への直接的な影響は生じないと考えている。減額となった点については、再要望する。次年度以降については、交付率の条件がよいとされる、防災・安全交付金への移行や国の施策による重点配分の対象となる事業として位置付けるなど、予算確保に努めていく。



# 各常任委員会での審査

各委員会の二次元コードから、該当する委員会の動画を直接開くことができます。

総務委員会

## 火災予防条例改正で安全確保へ

第73号議案 火災予防条例の一部改正



**Q** 火災予防条例の一部改正点の具体的内容について。

**A** 林野火災注意報、警報が発令されることに伴い、市民への生活部分に大きな変化は特にない。ただ、注意報発令時には努力義務として市民の方に火の使用の制限に努めていただく。また、警報が発令された場合には、消防法で定められた措置と規制が加わる。



福祉文教委員会

## 地域限定保育士を追加した理由は？

第70号議案 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正



**Q** 小規模保育事業所等の職員に、地域限定保育士を追加する経緯について。

**A** 地域限定保育士制度は、待機児童が深刻な区域で国家戦略特別区域法に基づく特例措置として創設された。その後、保育士不足が全国的な課題であることから、一般制度化し、特定の都道府県または指定都市の区域に限り保育士と同様に業務を行うことができるように、児童福祉法が改正されたことから、今回条例改正を行う。

都市環境委員会

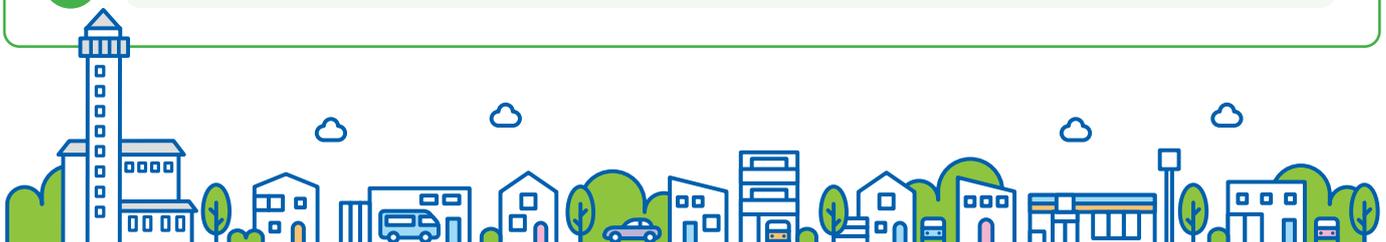
## 広域復旧と詐欺防止、両立へ

第72号議案 水道事業給水条例の一部改正



**Q** 災害時に、他市等が指定する工事業者でも宅内に及ぶ給水装置等の復旧工事が可能になるが、混乱時の詐欺等のリスク対応は。

**A** 能登半島地震の教訓を元に、災害時においても迅速な復旧工事を可能とするための措置であり、現在、愛知県において統一的な運用方針を策定中である。本市も策定された方針に基づき工事業者の確認を行うこととなる。なお、詐欺等に対しては、市民への注意喚起を図るなど、被害防止に努めていきたい。



# 議案等の審議結果



網掛けは、討論のあった議案

## 全会一致で原案可決等された議案

議案番号	件名	可否
第 59 号	令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
第 60 号	令和7年度土地取得特別会計補正予算(第2号)	可決
第 61 号	令和7年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決
第 62 号	令和7年度水道事業会計補正予算(第1号)	可決
第 63 号	令和7年度公共下水道事業会計補正予算(第2号)	可決
第 64 号	議会の議員及び長の選挙における自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例及び議会の議員及び長の選挙におけるビラの作成の公営に関する条例の一部改正	可決
第 65 号	行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正	可決
第 68 号	職員の給与に関する条例等の一部改正	可決
第 69 号	小中学校体育施設使用料条例の一部改正	可決
第 73 号	火災予防条例の一部改正	可決
第 74 号	市道路線の認定及び廃止	可決
第 75 号	令和7年度一般会計補正予算(第5号)	可決
第 76 号	和解及び損害賠償の額の決定	可決

## 賛否が分かれた議案

○:賛成 ×:反対 病:病欠 を表示しています。

網掛けは、討論を行った議員です。  
議長(さかえ章演)は採決に加わりません。

### 会派名

#### 令和あさひ

#### 市民クラブ

公明党  
尾張旭  
市議団

日本共産党  
尾張旭  
市議団

愛知維新  
の会尾張  
旭市議団

議案番号	件名	可否	令和あさひ		市民クラブ					公明党 尾張旭 市議団		日本共産党 尾張旭 市議団		愛知維新 の会尾張 旭市議団							
			秋田さとし	さかえ章演	陣矢幸司	谷口武司	日比野和雄	松原たかし	安田吉宏	若杉たかし	市原誠二	いとう伸一	大島もえ	櫻井直樹	早川八郎	芦原美佳子	片淵卓三	丸山幸子	川村つよし	神原利宏	勝股修二
第58号	令和7年度一般会計補正予算(第4号)	可決	○	—	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	○
第66号	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正	可決	○	—	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	×	×	×
第67号	特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	×	×	×
第70号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	×	×	○	○	○
1 第71号	下水道条例の一部改正	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	×	×	○	○	○
1 第72号	水道事業給水条例の一部改正	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	×	×	○	○	○
請願 第2号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書	不採択	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	病	×	○	○	×	×	×
陳情 第2号	「核兵器禁止条約」への署名・批准を求める意見書採択に関する陳情	不採択	×	—	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	病	×	○	○	×	×

討論の内容は、市議会のホームページ(「提出議案と議決結果」で検索→定例会名)からご覧いただけます。

1 のついた議案は、P2の「12月定例会での主なことがら(トピックス)」で詳しい内容をご覧いただけます。

※議長(さかえ章演)、副議長(谷口武司)、監査委員(市原誠二)は、慣例により一般質問を控えています。



### 初期日本語教育には、 個別の取り出し指導が必要

櫻井 直樹



Q

外国にルーツを持つ子どもたちの初期日本語教育では、ボランティアの皆様の支援を受けている。個別の取り出し指導や有償で活動できる「市の日本語指導員」として、ボランティアを位置付ける指導体制が必要では。

A

**教育長**／本市の初期日本語教育が必要な児童生徒数は、現在25名程度であるが、近年増加傾向にあることを踏まえると、「市の日本語指導員」による指導体制の構築についても、今後は検討していく必要があると認識している。



### 財政力強化のために 市役所の業務改善を!

いとう 伸一



Q

人口減少社会では税収減で職員数は減っても面積は減らず水道や道路も縮まない。行政サービス向上には、トヨタ生産方式を参考に、業務の見える化、ムダの特定、改善、標準化、横展開等の業務改善を実施してはどうか。

A

**企画部長**／財政状況を考慮して、計画的に職員数を確保する必要がある。デジタル化を含めた業務改善で、生産性向上とともに、職員一人一人の能力と意欲を高め組織力を強化するために、働きやすい職場環境の整備も必要と考える。



### 若年がん患者 在宅療養支援の強化を

勝股 修二



Q

介護保険が適用されない40歳未満の末期がん患者が、住み慣れた自宅で家族と最期を過ごすためには、医療・介護の調整役となるケアマネジメントが不可欠だ。市の費用助成事業において、ケアマネジメント費用も対象とし、支援体制を強化すべきだ。

A

**健康福祉部長**／本人、ご家族から、意向を聴き取り、関係者と連携を図りながら保健師が対応することになるかと考えている。  
**健康課長**／県からは、ケアマネジメント費用を含めることは可能との回答であった。



### マンション防災マニュアル の整備を!

芦原 美佳子



Q

大地震時、耐震基準を満たすマンションは被害が軽微な場合、在宅避難が可能である。マンション防災マニュアルを整備し、住民の自主防災活動の支援をしては。

A

**総務部長**／現在、マンション等に特化したマニュアルやガイドはないが、防災力の向上には、とても有効である。

住民の自主的取組を後押しするため、作成に向け準備を進める。





### ウェルビーイングと 紅茶について

早川 八郎



Q

紅茶のアンチエイジング効果は広く知られており、健康都市であり紅茶のまちでもある本市が、これらの融合に取り組む考えは。

A

**市民生活部長**／紅茶のアンチエイジング効果、風邪の予防、脂肪の吸収抑制などの効果が科学的に実証されつつある。健康の視点から紅茶に着目した取組は、ウェルビーイングにつながると考えられるので、調査研究をしていきたい。

※ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良好な状態であること。



### 自主自律型学校運営と 校内安全・ハラスメント 防止

大島 もえ



Q

ハラスメントを指導と称して見過ごさないため、「昔は普通」「指導の一環」といった固定化を避け、被害の認知力を育み、目撃した際にも「黙認しているのではないかと」罪悪感を抱かせることなく安心して声を上げ守られる仕組みが必要。学校を「健全な関係性を育む場」とする具体策を伺う。

A

**教育長**／意識改革と、組織全体でハラスメントを許さない仕組みやチェック機能を整え、教員研修にも加え、他自治体の動画等も活用したい。



### 「おいしい紅茶のまち」 について

若杉 たかし



Q

「おいしい紅茶日本一のまち」文化を育ててほしい。1. 紅茶フェスティバルへの更なる協力 2. 紅茶セミナーの開催 3. 尾張旭の紅茶ペットボトルの制作 4. 紅茶月間の制定 5. 紅茶を給食で提供。これらを要望したい。

A

**市民生活部長**／今後も「おいしい紅茶日本一のまち」を磨き上げ本市が誇れるブランドへの成長を目指し紅茶を身近に感じられる取組を行う。市民が胸を張って、「尾張旭市はおいしい紅茶のまち」と言ってもらえるように取り組んでいく。



### 環境・脱炭素の取組 について

片淵 卓三



Q

市公共施設（全体）における照明設備のLED化の進捗率と光熱費削減効果について伺う。

A

**環境課長**／LED化の進捗率については、施設数193施設に対して、完全にLED化が完了している施設が9施設となっており、全体の約5パーセントとなっている。また、LED化に伴う削減効果については、把握していないため、今後は各施設に聞き取り調査を行い、実態の把握に努めていきたいと考える。



### 「学校給食センター」で 不登校児童生徒に給食の 提供を!

丸山 幸子



**Q** 不登校児童生徒は、家庭で孤立しがちで栄養面・精神面での支援が必要である。給食センターでの給食提供は、栄養のある給食が食べられ、孤食への対策、安心できる居場所の提供と生活リズムの改善、外出への第一歩にもつながることが期待できる。本市でも導入すべきと考えるが見解を伺う。

**A** **教育部長**／現在、学校給食センターを活用した子どもたちの新たな居場所づくりの検討を重ねており、今年度中に試行的な取組を実施したい。

### 学校給食の アレルギー対応

秋田 さとし



**Q** 食物アレルギーがある児童生徒に対する対応と多様な食文化への配慮は。

**A** **教育部長**／関連事故の未然防止を着実に実施するため、令和5年に策定した「小中学校における食物アレルギー対応マニュアル」を活用し、関係者が同じ情報を共有できる体制を強化する。また食物アレルギーに関する対応確認をシステム化する等していき、全ての児童生徒が給食時間を安全に、楽しく過ごせるように取り組む。  
**管理指導主事**／「国際理解」において多文化や食習慣を互いに理解し合う取組が実施されている。

### 市内企業の雇用確保の 場の創出について

陣矢 幸司



**Q** 市民が市内企業へ就職した際の支援について伺う。

**A** **市民生活部長**／今のところ、特別な考えは持ち合わせていないが、他自治体の事例なども情報収集しながら、今後、どのような支援ができるのか、どのような支援がふさわしいのかなどについて、調査研究していきたいと考えている。



### 補聴器購入助成の請願が 採択も財源理由に拒否

神原 利宏



**Q** 9月議会で難聴者の補聴器購入費助成の請願が採択されたが、市は高齢者や障がい者等との公平性を保持することや、国・県の措置による実施及び財政上の負担を理由に、実施困難の答弁だ。事業の研究はするというのが、150万円程度の事業になぜ慎重になるのか。

**A** **地域福祉課長**／法令等に基づく事業は国・県の補助金等があるが、これは市独自事業のため財源確保が課題。事業目的、対象者や助成額が適切かなど検証し、実施の可否を慎重に検討する必要がある。



### 南海トラフ巨大地震の新被害想定について



安田 吉宏



Q

新被害想定に伴い既存計画の見直しが必要であると考えているが本市の方針について伺う。

A

**総務部長**／組織横断的に調査を行い、影響の出る既存計画等を把握し、修正を行うとともに、地域防災計画の見直しや関連する防災関連計画等の総点検を進める。令和8年6月に愛知県から公表される予定の県被害想定を受け、令和9年度中には関連する計画の見直しを終える予定である。

### 香害の啓発と予防について



川村 つよし



Q

尾張旭市は「化学物質過敏症」について、厚労省などで作成した資料を紹介しているが、健康被害が広がりつつあるという認識で早急に対策に臨むべきではないか。特に、幼少期や小学校での対策、保護者への強い啓発などを行い、将来的な医療費増加を回避できるのではないか。

A

**教育部長**／「香害」は単なる匂いの問題ではなく、健康被害対応という形で捉える必要があり、校長会議の場において、改めて協議していきたい。

### 「健康診査受診券」について



日比野 和雄



Q

尾張旭市と愛知県の各がん検診の受診率について伺う。

A

**健康福祉部長**／昨年度の受診率は、肺がん19.4%、大腸がん15.9%、胃がん8.7%、乳がん8.4%、子宮頸がん9.3%、前立腺がんは5.8%。愛知県はまだ公表されていないため、令和5年度では、肺がん13.0%、大腸がん11.5%、胃がん5.5%、乳がん6.7%、子宮頸がん7.2%。なお、前立腺がんは市独自であるため、県とは比較することができない。

### 成長戦略に中日球団2軍拠点施設誘致を!



山下 幹雄



Q

中日ドラゴンズ2軍の拠点新施設候補地の公募を発表した。厳しい財政下ではあるが、歳出削減ばかりではなく、市民が前を見て夢が持てるよう事業として誘致を進めてはどうか。

A

**市長公室長**／誘致する事は、魅力的なものと感じている。報道以降、市民より意見を複数頂いており関心の高さも感じている。近年、各地複数の球団で移転公募が行われ、どこも自治体間の激しい誘致合戦が繰り広げられた。今後示される詳細な条件を精査して対応を決めることとなる。



# 委員会の行政調査報告

## 都市環境委員会

埼玉県  
川口市

市民の願いが実現  
～くらしに調和する  
火葬場づくり～

### 👉 テーマ選定のポイント

火葬場を「持たないまち」から建設へと転換した先進事例として研究するため。

### 👉 調査報告

人生の最期の旅立ちの場所はどうあるべきか。川口市では「めぐりの森」という、公園の一部として調和した火葬施設を実現しています。

14万人もの市民から「早期建設の請願」が出されたことをきっかけに計画がスタートし、「斎場を設けない」「外観に配慮する」などの住民意見を取り入れながら合意形成を図りました。住宅から見えにくい低地への配置や、ガラス張りの明るい雰囲気、周辺の緑化など、火葬場というイメージを覆す空間づくりに成功しています。

また、運営面でも30年間の維持費を考慮した料金設定をしていることや、生活道路と施設への動線を分けるなど、細やかな配慮で周辺住民からも好意的に受け止められています。将来の議論に備え、火葬場を「まちの必要な機能」として考える貴重なヒントを得た調査でした。



## 福祉文教委員会

静岡県  
焼津市

「困りごとマルっと  
サポートセンター」の  
有効性

### 👉 テーマ選定のポイント

全庁的に課題を共有化し、市長・副市長の許可を得るトップダウン形式を踏襲した支援組織の実践で、とても興味深い先進事例であるため。

### 👉 調査報告

今までは、課題が複合化した事案や制度のはざまになる事案をどこが主体的に対応するかが明確ではなく、対応が難しい状態であったが、厚生労働省の「重層的支援体制整備事業」がスタートし、課をまたぐ大がかりな体制構築につながりました。

6部長会で、各部署が抱えていた課題を共有し合い、体制整備の必要性を再認識した上で合意形成し、その合意の基に市長・副市長の許可を得るという手順を取りました。このトップダウン形式を踏襲して整えられた支援組織が、「困りごとマルっとサポートセンター」です。

本市においても福祉に関する相談事案は、複雑化、多様化していると考えられます。個々の部署による支援にとどまらず、複数の関係部署が連携して、複合的に支援ができる重層的支援体制の構築を早期に進めていきたいと考えています。





## 総務委員会

埼玉県  
入間市

### スポーツでつながる 元気なまちづくり



#### テーマ選定のポイント

スポーツを通じた健康づくりと地域の魅力向上の工夫を知るため。



#### 調査報告

スポーツを地域の力に変える入間市の取組を学びました。新しいスポーツ文化を応援し、市の魅力づくりや産業の活性化にもつなげています。スポーツアンバサダーの活動や市内事業者との協力など、条例をきっかけに広がる動きが印象的でした。市民が健康でいきいきと暮らせるまちづくりのヒントを得ることができました。



東京都  
あきる野市

### ミスを防ぎ、市民を支える 監査の工夫



#### テーマ選定のポイント

市民の安心につながる丁寧で質の高い監査の仕組みを学ぶため。



#### 調査報告

監査の質を高めるための工夫が随所に見られました。事務局との綿密な打合せや、予備監査・本監査の流れを丁寧に確認することで、ミスや見落としを防ぐ体制が整えられています。「人に罪を作らせない」という強い思いが伝わり、市民の暮らしを守る監査の大切さを改めて感じる調査となりました。



## 議会運営委員会

神奈川県  
横須賀市

### 進化する議会 ～市民の安心と未来を支える～



#### テーマ選定のポイント

実効性のある政策立案と市民参加を促進する仕組みを知るため。



#### 調査報告

いざという時、議会は機能するのか?横須賀市議会は災害時BCPを策定・改訂し、地震や感染症に備えています。また政策立案では「未来への羅針盤」という実行計画のもと、政策検討会議で課題を抽出し、課題別検討会議で具体策を練る仕組みが特徴的。さらに電子申請システムを活用した請願・陳情のオンライン受付も実施。市民に開かれ、災害にも強い議会づくりの先進事例として、私たちの議会運営にも生かしていきます。



東京都  
杉並区

### ICTで変わる! より開かれた議会へ



#### テーマ選定のポイント

議会の情報アクセシビリティ向上と多様な市民参加を知るため。



#### 調査報告

杉並区議会では、「LINE WORKS」を活用し、議会運営の効率化を実現しています。議員と事務局間の連絡・調整が迅速になり、年間140時間もの業務削減効果がありました。また、本会議のライブ配信にAI字幕を導入し、聴覚に障がいのある方も議会を理解しやすくなりました。ICTの積極活用で、災害時の情報共有や議会の開かれた運営も促進。私たちの議会も、より市民に身近で効率的な議会運営を目指していきます。



# 尾張旭市議会報告会・意見交換会



## どうなる？ どうする？ 中学校部活動

※この写真は生成AIで作成したイメージです

「入りたい部活がなくなっちゃうの?」「休日の練習はどうなるの?」「送迎や費用の負担は?」「そもそも部活動は存続するの?」部活動の地域移行(地域展開)について、期待と不安を感じている方も多いはず。

尾張旭市の未来を担う子どもたちのために、今、議会ができることは何か。現場の声、保護者の本音を、ぜひ私たちに直接届けてください。

4月26日(日) 午前10時から  
会場: 中央公民館302会議室

予約: 不要

備考: 駐車場の台数が限られますので、できるだけお乗り合わせの上ご参加ください。

### 令和8年 第2回 3月定例会の日程

日	月	火	水	木	金	土
2/22	23	24	25	26 本会議(初日)	27	28
3/1	2	3	4	5 本会議(一般質問)	6	7
8	9 本会議(一般質問)	10 本会議(一般質問) 予算決算委員会	11	12	13 福祉文教委員会 予算決算委員会 ・福祉文教分科会	14
15	16 都市環境委員会 予算決算委員会 ・都市環境分科会	17 総務委員会 予算決算委員会 ・総務分科会	18 予算決算委員会	19	20	21
22	23 議会運営委員会	24 本会議(最終日)	25	26	27	28

※本会議・委員会は、原則午前9時30分から始まります。

市議会だよりの記事に関するご意見・ご質問をお寄せください

(0561)76-8186  
(0561)52-2222  
giji@city.owariasahi.lg.jp

市議会だよりは、3月、6月、9月、12月の年4回の定例会、また、必要に応じて開かれる臨時会の議事の内容を中心に編集、発行しています。